

福生市立地適正化計画(改定)(案)に関する意見

実施期間 令和5年12月14日(木)～令和6年1月12日(金)

提出人数 1名 3件

提出方法 メール1名

	市民意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>施策番号06 都市機能の立地促進と現状の施設の維持 について</p> <p>「駅周辺における都市機能の立地促進」と「現状の施設の維持」をうたっているが、福生駅西口地区公共施設の建設を理由に、中央体育館、市民会館、保健センターの廃止を計画している(個別施設計画)のは矛盾している。</p> <p>福生駅西口地区公共施設のマルチスペース(大)は、重ね使いの施設としては認定されなかったように、スポーツ専門施設としての中央体育館、文化の専門施設としての市民会館は引き続き現在地で維持・更新していくことを決めるべき。</p> <p>また、本施設に移転予定の保健センターについては、補助金の対象にならなかったという理由からだけでなく、コロナ禍における対応が、西多摩保健所だけでは無理だったことが明らかになったという理由からも、現在地で維持・充実させ、今後予想される新たな感染症に備えて、保健所への格上げをめざすべきである。</p>	<p>福生市立地適正化計画の改定案は、令和3年3月策定の福生市個別施設計画、令和3年5月策定の福生駅西口地区公共施設整備実施計画と整合を図り作成しております。</p>
2	<p>施策番号14 公民館等を活用した地域コミュニティの活性化 について</p> <p>「公民館を活用し、市民の生きがいづくり・仲間づくりとしての居場所の創出」には賛成である。個別施設計画において、福生市の北西地域に公民館がないことから新設の方針があるようだが、いまだに具体案がない。福生駅西口地区公共施設の中に導入すべきである。公民館は近くにあることが利用しやすいの第1条件である。加えて、「20代から30代に向けた事業展開」にも、福生駅前施設は通学・通勤帰りの若者が公民館サークルとして無料で気軽に利用できる絶好の施設になりうると考える。保健センターを現在地で継続すれば、その空いたスペースを公民館施設として活用できるだろう。</p>	<p>本件につきましては、福生市個別施設計画や福生駅西口地区公共施設整備実施計画の内容に関するもので、本計画は、それらの計画と整合を図り作成しているため、今後の各施設に係る検討の際の御意見とさせていただきます。</p>

3	<p>施策番号40 公共交通機関等の充実 について</p> <p>「路線バスの空白地区の改善のため、バス路線の新設や増便をバス事業者に要望していきます。」とあるが、そもそも、事業者単独では採算が取れないから撤退したり、実現していないのであって、いつまでこうした実現性の乏しい施策を掲げ続けるのか。</p> <p>採算が取れない地域の市民の公共交通確保が喫緊の課題である。事業者と自治体が協力してコミュニティバス(市内循環バス)を実施すべきである。</p> <p>福生駅西口の賑わいを取り戻すためにも、市内どこからでも、誰でも便利にアクセスできるコミュニティバス(市内循環バス)は不可欠である。</p>	<p>福生市は市域が狭小なうえに鉄道駅が5駅ありバス路線も充実しているため、交通利便性の高い都市です。バス路線については、立川バス営業所が福生市内に移転してきたことにより、新設や増便が図られており、要望の効果が表れております。また、多摩川沿いの一部公共交通不便エリアの補完や高齢者等の交通弱者対策として、福祉バス運行事業の更なる推進・促進を施策として掲げ、令和6年1月から1ルート増加するなど充実を図っております。</p>
---	--	---